

[10月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

じも
み

中山かのん
小二

廣瀬舟雲先生

幼・小学1年参考手本

え
いどうけん

佐藤菜扇先生

小二 小川春子

月

片岡豪峰先生

小一ひらおかさえ

よ
む

田守光昭先生

[10月 6 日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年参考手本

町村

小四 山田一平

板垣洞仙先生

小学 3 年参考手本

方向

小三 山村一美

稻垣小燕先生

小四 山田南

安全

千葉蒼玄先生

ご虫か

小三
今中あい

種谷萬城先生

[10月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年 参考 手本

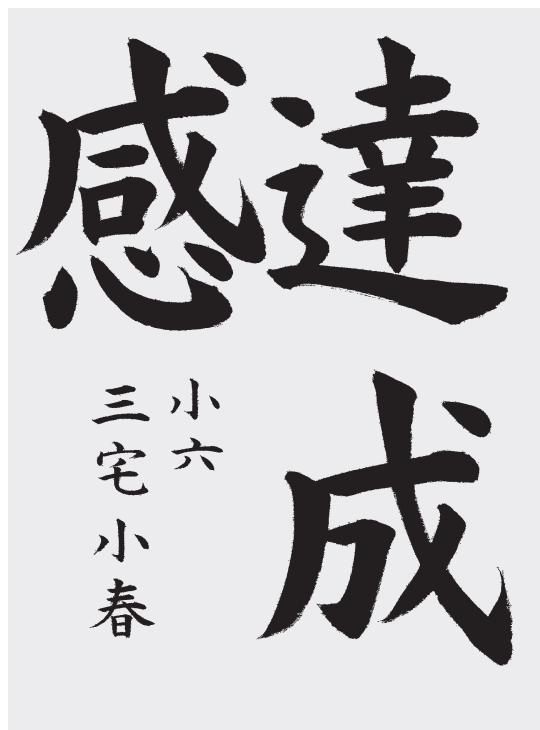


半田 藤扇 先生

小学 5 年 参考 手本



小池蹊舟 先生



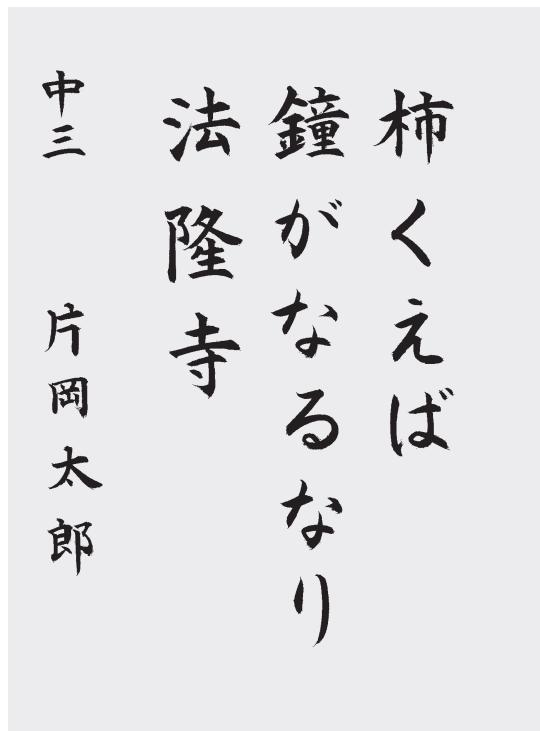
大平邑峰 先生



橋本玉扇 先生

[10月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



小竹石雲先生



川島舟錦先生



辻元大雲先生



九成宮醴泉銘
(中国唐時代)
歐陽詢

発展〔中学生〕

・有名な古典の名跡に挑戦してみよう

昔の有名な書や石碑に刻された書の拓本などをもとに書法を学習することを臨書といいます。右は、いにしえの楷書の碑の中でも最も整った楷書といわれているものです。

※この課題は楷書で書くこと。

毛筆參考手本解說(1)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。
ゴシック体（ゴ）・明朝体（明）・教科書体（教）

• HGP行書体 (H)

1
年

3
年

4
年

5
年

花 ハナ
花 ハナ
花 ハナ

衣類

よむ(ヨ) よむ(明) よむ(教)

2
年

「じげん」

もみじ(ュ) もみじ(明)
もみじ(教)

もみじ

月 はなづ
下を広くする ひろ
※字形 じけい
またて なが
長こ なが

下を広く
したひろく

同じ間かくで
ノ刀刀月

ヒツジン

月(ゴ) 月(明) 月(教)

教

かかか
かかか
かかか
かかか
かかか

虫かご(明)
虫かご(教)

（許容）
方順の筆
女出ない

時計 <small>(五)</small>	時計 <small>(明)</small>	時計 <small>(教)</small>
一 日 + 日 時 時 時 時	三 言 言 言 計	筆 順
はなす	方向 <small>ヨコ</small>	止め
日	十	十

方向カタリ
ノヽトトコトト
一 二 方

筆順

一 二 三 田 田 一
十 才 木 村 村 町
町 村 (3) 町 村 (明) 町 村 (教)

The diagram illustrates the stroke order for writing the character '方'. It shows a vertical dashed line down the middle. The top stroke is a horizontal line from left to right. The bottom stroke is a horizontal line from right to left. To the right of the character, the text '内側に折れてから向かう' (Fold inward from the inside, then go forward) is written vertically, with 'うちがわてからむかう' written horizontally below it.

横画の中央で
浅く接する

あける

はねる

木のはね

許容

家族

〔10月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 2 年

幼·小 学 1 年

支 部 名			
段・級	る	の	ぼ
学 年	く	を	く
名 前	ま	まつ	は
本 山 光	つ	て	、
	い	い	、
	た	た	。
			手 紙 が 来

支 部 名		
	本をみつけた。	おきにいりの
だん・きゅう		
がくねん		
一		
なまえ		
あべはるか		

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましょう。ゴシック体（ゴ）・明朝体（明）・教科書体（教）・HGP行書体（H）

『本
はらいをしつかり書きましょかう。

の(ヨ)の(明)の(教)

やや右あがり
上でつづけるつもりで
を(上)を(明)を(数)

『手紙』
「紙」の字形をたやすく書きましょう。

[10月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年

小学 3 年

支部名	ぬ け て い き ま し た	一 ド で 大 き な 車 が	目 の 前 を す ご い ス ピ
段・級			
学年	四		
名前	西口 実紀		

中心
走

中心
車

中心
大

『大きな車』
正しい字形で書きましょう。

「右はらい」はいったんとめてから、のびやかにはらう。
うちがわにむける。
「左はらい」の方向

間かくにちゅうい
（筆順）

一 ノ ノ ノ 車
車 (3) 車 (明) 車 (教)

走 (3) 走 (明) 走 (教)
走 + 土 キ キ 走 走

支部名	い に 歩 き ま し た	家 を 出 て 、 線 路 ぞ
段・級		
学年	三	
名前	竹田 風太	

中
心
路

中
心
線

中
心
家

『線路』

とくに「家」の字形を正しく書きましょう。

中心から書いて中心にもどる

※ 左はらいの
方向に注意してつりあいよく。
（ひつじゅん）

一 ノ ノ 家
家 (3) 家 (明) 家 (教)

線 (3) 線 (明) 線 (教)

糸 紺 紹 紗 線

口 よこがでる
たてが出る
（ひつじゅん）

路 (3) 路 (明)
路 (教)

ヰ フ ヌ 路 路

[10月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 6 年

小 学 5 年

支部名	され て い ま し た 。	防 災 訓 練 の 様 子 が 特 集	二 ユ ー ス 番 組 の 中 で
段・級			
学年	六		
名前	田辺 賢二		

支部名	独 登 山 に い ど ん だ 。	し い ル 一 ト を 選 び 、 单	工 ベ レ ス ト の 最 も 険
段・級			
学年	五		
名前	竹中 結子		

集
長く
（筆順）
イイハ什佳集
集（明）集（教）

特
（筆順）
点の位置に注意
特（明）特（教）

防
（筆順）
防（明）防（教）

【防災訓練】
筆順にしたがって、正しく整えて書きましょう。

登
（筆順）
登（明）登（教）

独
（筆順）
ノイタ
独（明）独（教）

険
（筆順）
ハハハ
険（明）険（教）

【登山】
漢字の外形を見て、正しく整えて書きましょう。

[10月 6日締切課題] 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 書)

中 学 生 (楷 書)

支部名	
段・級	
学年	
中三	
名前	今橋 美波

創造は過去と現在とを
発明する能力です。

支部名	
段・級	
学年	
中三	
名前	今橋 美波

材料としながら新しい未来を
発明する能力です。

新 明 能
去 現 材 料

・行書のワンポイントアドバイス

行書は楷書に比べて筆路（点画のつながり）が明確です。今回は点画の連続を学びましょう。

創能月 手 月 手 戸
 〔許容〕 〔はなす〕 〔はなす〕 〔はなす〕
 〔筆順〕 〔方向〕 〔止め〕 〔方向〕

【創造】 漢字よりひらがなをすこし小さく書きましょう。

これからのお作品締切日と課題

令和5年11月号～6年3月号までの作品締切日と毛筆課題

小 5

に	図	グ
つ	書	ル
い	館	ー
て	で	プ
調	世	界
べ	に	分
ま	四	か
し	大	れ
た	文	明
。	明	、

幼・小 1

は	じ	え
し	ど	が
っ	う	ダ
て	車	ム
い	が	、
ま	、	。

小 2

本	お	か
を	話	と
作	を	り
り	よ	ん
ま	ん	で
し	で	、
ょ	絵	。

小 3

白	い	く
流	雲	が
れ	が	、
て	青	い
い	い	空
き	。	

小 4

発	な	絵
表	が	・
を	ら	、
し	、	写
ま	パ	真
し	ン	な
た	ダ	ど
。	の	を
研	見	見
究	せ	究

11月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

中学生 (全学年共通)	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	幼・小 1	締切日
理路整然	臨海(九成宮・集字)	風景	月光	見る	えがお	は	11月6日
吹く	筆の里	波の音	大切	竹やぶ	ダム	すみ	12月4日
晴耕雨読	曲水(蘭亭序・臨書)	海岸線	千歩	広がり	つばさ	き	1月8日
広める	見聞を	楽しい声	絵画	冬ごもり	夕やけ	ふゆ	2月7日
心機一転	惠風(蘭亭序・臨書)	固い決意	百人一首	生きる力	たつ年	ね	3月10日
炭を継ぐ	觀察力	理想	新春	はつゆめ	おせち	もち	
暗中模索	先聖(孔子廟・臨書)	お手伝い	文庫	自由	ぞうに	む	
梅林	世界旅行	道路	点画	図工	よろこび	やま	
千変万化	風雲(孔子廟・臨書)	希望の春	約束	花だん	ポスト	せ	
つかむ	平和運動	周囲	発表	美しい花	花だん	ビデオ	

中学生

日本古来の楽器に尺八がある。
竹林の中を過ぎていく風の音を表
現できたら名人といえよう。

書写を知り 学び楽しむ



広瀬舟雲先生

講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院評議員です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

これは京都の西本願寺周辺を歩いていた時に見つけた和菓子の老舗の看板です。老舗は入口の店構えからして伝統を感じさせます。正面に取り付けられた老舗の看板は、建物とよく調和していてこのお店の伝統をさらにお客様たちだけではなく、道を通る人々にも感じさせるとても妙趣のある書です。たっぷりと筆に墨をつけて揮毫されたであろう書には存分に鍛錬された深さと技がじみ出ていて、刻の具合も風格があり大変立派です。

さて、木の看板の書を刻す時は、次の三つの方法があります。

①板に直接揮毫して刻す。

②紙に書を揮毫してから、それを板に貼って刻す。

③紙に書を揮毫して、その上にさらに紙を置き、かご字を取ってから、このかご字を板に貼って刻す。

一番難易度が高いのが①です。もし一度目で書いた書が成功しなかった場合、その板面を再度、カンナで削らなくてはなりません。揮毫者にとって最もプレッシャーがかかる方法です。②は、何回も練習・試作して気にいった清書を刻せるという点が利点です。③は、さらに紙に書いた清書を残すことができるという利点があります。現代の書道展に見る刻字作品は、自書自刻（自分で書を揮毫して自分で刻す）が大前提ですが、昔、老舗の看板制作は、書を書家に依頼し、刻は専門職人に任せたようですね。刻す職人の技量も重要な要素でこれによって文字の雰囲気もかなり変わりました。



が読めますか？ 右から左へ向かって「本派本山・松風調進所」と揮毫されています。この「松風」はしっとりとしたカステラ風のお菓子の名前で、なんどこの老舗で作られてから430年の歴史があるそうです。調進所とは注文した品を整えて納める所の意です。現代の言葉になると調達所という意味になりますね。この看板は、世間でいうところのいわゆる「昔の横書き」です。現代の世の中では英語と同じように横書きは、左から右に向かって書きます。ところが戦前までは、お店の看板だけではなく、本の表紙や新聞記事の見出しにも同様に右から左に向かってのものばかり見られることに不思議な気持ちでいっぱいでした。ある日、この謎がさっと吹き飛びました。これは、「一行一字の縦書き」であるとある先生から教わったからです。一行に一字ずつ書いてみてください。すると自然に今、問題にしている「昔の横書き」になることが分かりました。よって、これは横書きではなく、実は縦書きであったのです。現在では縦書きの文章に横書きの見出し等がついていても当たり前のように感じますが、戦前までの文章表記は、縦書きの時はすべて縦書きで統一していました。

第79回 身の回りの書5・老舗の看板

今月のホープ

小五 栗津晴香（和賀書道教室）



中三 齋藤恵那（もくせい書道会）

筆の弾力を巧みに使い、味のある線質が魅力的です。転折の扱いも書の本格の姿を示し、的確な学書の姿が窺えます。



一点一画が丁寧で、勢いのある作品です。字形も美しく、日頃の真摯な学習態度がうかがえる秀作です。

小一 山崎未来（冒水）

支部名	
段・級	
学年	
六	
氏名	
芹沢莉緒	

歴史に残る演説は、現代でもその心を動かす力がある。

小六 芹沢莉緒（竹の子書道教室）

一文字一文字から作者の優しさと温かさが伝わってきます。基本をマスターした素晴らしい作品となりました。

支部名	
昌水	
だん・きゅう	
5	
がくねん	
一	
なまえ	
やまとざきみらい	

しました。みずあそびを

素直な線で名前を含めて全ての文字を丁寧にゆったりとかき、すばらしい作品になりました。

第77回書道芸術院展併催

第75回記念 全国学生書道展作品募集規定（抜粋）

会期 令和6年2月6日(火)～2月11日(日・祝) 9:30～17:30

(入場は30分前まで)

ただし、2月11日は14:00まで(入場は30分前まで)

会場 東京都美術館(東京都台東区上野公園)

部門 ① 半紙部門 (たて34cm よこ25cm) ※一人何点でも出品できます。

② 半切1/2部門 (70cm×35cm) ※一人3点まで出品できます。
(どちらの部門にも出品できます。)

作品締切・搬入 日時 令和5年(2023年)10月24日(火)

場所 〒101-0031

東京都千代田区東神田1-16-7 東神田プラザビル3階

公益財団法人 書道芸術院内 全国学生書道展事務局

審査 令和5年(2023年)11月1日(水)～5日(日)

半切½部門課題(自由課題も可・学年使用漢字で)

小1	うた	はし	小4	平安	真心	中1	未知	感動
小2	ゆび	まち	小5	和紙	幸福	中2	勝利	進歩
小3	子犬	文明	小6	調和	笑顔	中3	雲海	開眼
中学生は楷書または行書								

「全国学生書道展指導者作品展示」

児童、生徒と同じ半紙サイズで、現代書の多様な表現、書の楽しさ幅広さを皆様にご覧いただいております。書道芸術院関係役員、学生展指導者、書塾指導者の皆様の積極的なご出品をお願いします。

・出品資格

- ・本展出品指導者
- ・「書道芸術学生版」支部指導者
- ・書道芸術院審査会員

・作品寸法

- ・半紙額内自由
(額内寸 50×38cm以内)
(タテ・ヨコ自由)

※本紙寸法はすこし小さくして下さい。

- ・マクリのまま出品
(本院で一括表装依頼)

・出 品 料

- ・15,000円
(1人1点、表装料・返送料含む)

・出品手続き

- ・出品要項、出品票等を出品資格者へ送付する。
- ・必要な方はご請求ください。

・出 品 締 切

- ・令和5年10月24日(火)
(学生展作品と同じ)
- ・詳しくは別紙要項をご覧ください。

書道芸術学生版 秋季昇段級試験規定

• • 硬筆

一、しめきり日 10月6日（金）

一、発表 10月下旬

毛筆の部

一、課題

○試験は次の課題文字による。

幼・小学校一年生

つり（かいしょ）

二年生

あき（かいしょ）

三年生

大空（かいしょ）

四年生

草花（かいしょ）

五年生

合唱（かいしょ）

六年生

見聞（かいしょ）

中学校一年生 純真（楷書か行書）

二年生

応援（楷書か行書）

三年生

環境（楷書か行書）

一、受験料 各部一点 600円

毛筆
硬筆
共 一人一点

○受験料は、指定の振替用紙で締切日までに送金のこと。

一、書体

○小学生は楷書（かいしょ）

○中学生は楷書または行書

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人

が毛筆で書く。（幼・小一の方は、学

年を書かなくてもよい）

一、受験票

応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかり貼付する。

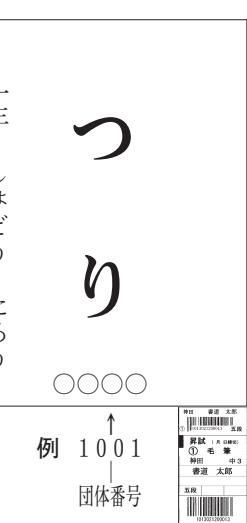
（毛筆・硬筆共）



○左図のように記入して出品する。

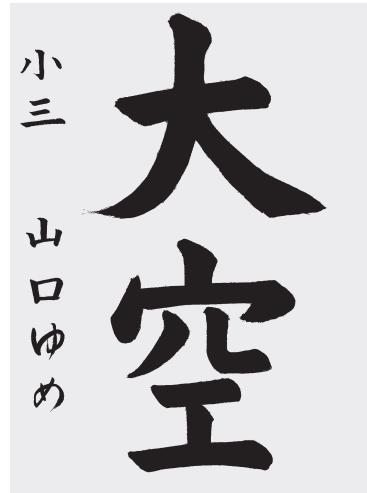
作品中央下に赤字で団体番号を記入する。

○応募書類は9月下旬に11月号といっしょに、受験番号を記入した応募書類と「昇段級試験用」バーコード出品券を送付します。

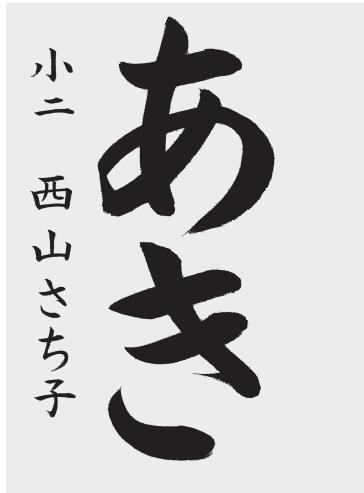


※10月号の購読部数を越える受験はできません。

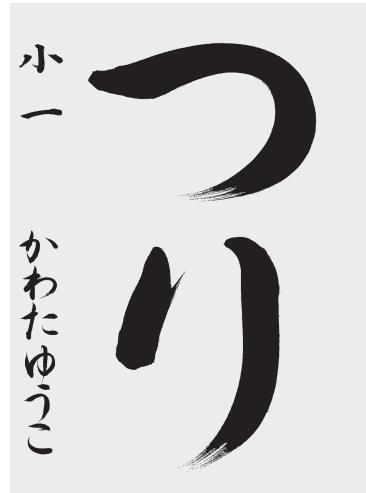
小学 3 年



小学 2 年



小学 1 年



廣瀬舟雲先生

大平邑峰先生

川島舟錦先生

小学 6 年



小学 5 年



小学 4 年



廣瀬舟雲先生

大平邑峰先生

川島舟錦先生

中 学 3 年

中 学 2 年

中 学 1 年

楷書

中三
佐藤奏

環境

小竹石雲先生

中二
森田照代

応援

種谷萬城先生

中一
太田健一

純真

名越蒼竹先生

中三
佐藤奏

環境

小竹石雲先生

中二
森田照代

応援

種谷萬城先生

中一
森下幸人

純真

名越蒼竹先生

行書

硬筆の部

一、くわしい規定は、「毛筆」と同じです。

一、用紙は、本院指定のものを使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品する。○学年相当の用紙で書く。

一、課題（各学年用）文字は、参考手本通りに書く。
一、「空欄」「。」「、」も正しく書く。

一、課題

支部名			
段・級			
学年			
二			
名前			
山口もも	が	細長いは	な
	よく見えまし	つぱの木	が
	た		く
			ほ
			そ
			い

支部名			
段・級			
学年			
二	が	細長いは	な
名前	よく見えまし	つぱの木	が
山口もも	た		く
			ほ
			そ
			い

小学4年

支部名			
段・級			
学年			
四	集ま	には	し
名前	つ	ふれあ	て
正木有登	て来まし	いたくさん	調べたこと
	た	い祭りの	べたことを
	んの	会場	整
	が		理

小学3年

支部名			
段・級			
学年			
三	集ま	には	し
名前	つ	ふれあ	て
大川友信	て来まし	いたくさん	調べたことを
	た	い祭りの	整
	んの	会場	理
	が		

一、清書には、「学年」「氏名」を受験生本人が書く。
一、幼・小一の方は学年を書かなくてよい。

例「みぞぶち こう」

支局、支部名は、本人が書けない場合はゴム印でもよい。

一、受験票は、応募書類と同送される段級が印字された「昇段級試験用」バーコード出品券を清書の右下にしっかり貼付する。

※10月号の購読部数を超える受験はできません。

支部名	
段・級	
学年	
中二	
名前	下元 美晴

青い空や白い雲とともに、
庭の木々・芝生・垣根などが、
シャボン玉の表に映りました。

支部名	
段・級	
学年	
六	
名前	水田 健太

に
変
わ
る
こ
ろ
。

ち
、
そ
れ
が
満
天
の
星
空

一
番
星
が
弱
い
光
を
放

支部名	
段・級	
学年	
五	
名前	森 理加子

富士山は、ふん火記
ることを知りました。

秋季昇段級試験で硬筆の部を受験される方は、本院指定の用紙(月例と同じ用紙)を使用するか、もしくは指定の用紙をコピーして、原紙の大きさにあわせて切って出品してください。

ご注文は、専用の払込取扱票にて、前納でお申込みください。払込取扱票をお持ちでない方は事務所へご連絡ください。

◎硬筆用紙は、学年別に4種類あります。

- ① 幼・1年生用 ③ 4・5・6年生用
- ② 2・3年生用 ④ 中学生用

料 金 表 (送料含む)

硬筆用紙9冊以下(1冊100円+送料)					
冊数	金額	冊数	金額	冊数	金額
1	245 円	4	615 円	7	1,000 円
2	405	5	800	8	1,100
3	515	6	900	9	1,250

10冊以上のご注文は、送料無料。

秋 季 昇 段 級 試 験

硬 筆 の 部

を受験される方へ

支部名	
段・級	
学年	
中二	
名前	下元 美晴

青い空や白い雲とともに、
庭の木々・芝生・垣根などが、

11月号毛筆参考手本（予告）11月6日締め切り分

幼・1年

3年

5年

中学

ダム

えが

2年

すみ

は

さとうるき

大切

月光

4年

ぶ竹や

見る

小三 川上光

書詩を

里筆の

6年

音波の

風景

小五 小川道子

あらし
吹く

整理路
整然

臨海

中三 欧陽詢

小二 やまだみわ
小四 小川広
小六 広山明子
中一 多田美子
中三 林せりな
中四 田中千尋
中五 田中千尋
中六 田中千尋
中七 田中千尋
中八 田中千尋
中九 田中千尋
中十 田中千尋
中十一 田中千尋
中十二 田中千尋
中十三 田中千尋
中十四 田中千尋
中十五 田中千尋
中十六 田中千尋
中十七 田中千尋
中十八 田中千尋
中十九 田中千尋
中二十 田中千尋
中二十一 田中千尋
中二十二 田中千尋
中二十三 田中千尋
中二十四 田中千尋
中二十五 田中千尋
中二十六 田中千尋
中二十七 田中千尋
中二十八 田中千尋
中二十九 田中千尋
中三十 田中千尋
中三十一 田中千尋
中三十二 田中千尋
中三十三 田中千尋
中三十四 田中千尋
中三十五 田中千尋
中三十六 田中千尋
中三十七 田中千尋
中三十八 田中千尋
中三十九 田中千尋
中四十 田中千尋
中四十一 田中千尋
中四十二 田中千尋
中四十三 田中千尋
中四十四 田中千尋
中四十五 田中千尋
中四十六 田中千尋
中四十七 田中千尋
中四十八 田中千尋
中四十九 田中千尋
中五十 田中千尋
中五十一 田中千尋
中五十二 田中千尋
中五十三 田中千尋
中五十四 田中千尋
中五十五 田中千尋
中五十六 田中千尋
中五十七 田中千尋
中五十八 田中千尋
中五十九 田中千尋
中六十 田中千尋
中六十一 田中千尋
中六十二 田中千尋
中六十三 田中千尋
中六十四 田中千尋
中六十五 田中千尋
中六十六 田中千尋
中六十七 田中千尋
中六十八 田中千尋
中六十九 田中千尋
中七十 田中千尋
中七十一 田中千尋
中七十二 田中千尋
中七十三 田中千尋
中七十四 田中千尋
中七十五 田中千尋
中七十六 田中千尋
中七十七 田中千尋
中七十八 田中千尋
中七十九 田中千尋
中八十 田中千尋
中八十一 田中千尋
中八十二 田中千尋
中八十三 田中千尋
中八十四 田中千尋
中八十五 田中千尋
中八十六 田中千尋
中八十七 田中千尋
中八十八 田中千尋
中八十九 田中千尋
中九十 田中千尋
中九十一 田中千尋
中九十二 田中千尋
中九十三 田中千尋
中九十四 田中千尋
中九十五 田中千尋
中九十六 田中千尋
中九十七 田中千尋
中九十八 田中千尋
中九十九 田中千尋
中一百 田中千尋

○秋季昇段級試験の作品締め切りは10月6日（金）、全国学生書道展の作品締め切りは10月24日（火）です。期日厳守でお願いします。皆さんの力作をお待ちしております。

○長い歴史の中で、現代に伝わる、中国や日本の優れた書のこととを「古典」といいます。また、古典を手本として書くことを「臨書」といい、書道の最も基本的な学習方法です。今月号から古典の臨書を中学生の毛筆の課題に入れました。

今回は、唐・欧陽詢（557～641）が書いた「九成宮醴泉銘」です。

欧陽詢は、唐の太宗皇帝に仕えた官僚で、虞世南、褚遂良とともに「初唐の三大家」と呼ばれる能書家です。書はすべての書体が巧みでしたが、特に楷書が優れていました。

「九成宮醴泉銘」は、その代表作で、「楷法の極則」と称される、楷書の名品中の名品です。しっかりとして力強い点画、安定して引き締まった字形がとても魅力的な書です。ぜひ臨書してみてください。

100年
集
余錄